

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	日本学特論		
科目基礎情報							
科目番号	0010	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	専攻科一般科目・共通専門科目	対象学年	1				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	菊池寛『藤十郎の恋・恩讐の彼方に』（新潮文庫）、ほかプリントを配布						
担当教員	加田 謙一郎						
到達目標							
1. 近代小説を意味論的に読解できる。 2. 文芸的理會を深め、各自の読解を踏まえて論じることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	理想的な到達レベルの目安 (良)	理想的な到達レベルの目安 (可)	不可			
意味論的理解	日本近代における「封建思想」について理會し説明できる。また、各自の歴史観を踏まえて論じることができる。	日本近代における「封建思想」について理會し説明できる。	日本近代における「封建思想」について理會できる。	左記に到達できない。			
文芸的理解	文芸作品における「封建思想」の描かれ方について理會し説明できる。また、各自の読解を踏まえて論じることができる。	文芸作品における「封建思想」の描かれ方について理會し説明できる。	文芸作品における「封建思想」の描かれ方について理會できる。	左記に到達できない			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講は、菊池寛の短編小説群を、意味論的に読解し、日本近代における「封建思想」について理會を深め、自らの歴史観を形成することとする。						
授業の進め方・方法	基本的に演習形式。事前に発表者を決めて、演習を行う。またその際には討議を行う。要所所では、講義形式の授業も行う。						
注意点	発表者は発表に際してレジュメ（レポート：課題として提出）を作成すること。発表者以外の受講者も積極的に討議に参加すること。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	井筒俊彦「意味論序説」	意味論とは何かを理會し、説明できる。			
		2週	同上	同上			
		3週	「恩を返す話」	菊池寛の短編小説を意味論的に読解し、テキスト中の「封建思想」について論じることができる。			
		4週	「忠直卿行状記」	同上			
		5週	「恩讐の彼方に」	同上			
		6週	「藤十郎の恋」	同上			
		7週	「ある恋の話」	同上			
	8週	「極楽」「形」	同上				
	4thQ	9週	「蘭学事始」	同上			
		10週	「入れ札」	同上			
		11週	「俊寛」	同上			
		12週	伊藤博之「風狂の文学」	文芸の享受が、各時代の世相に影響を受けることを理會し、説明できる。			
		13週	同上	同上			
		14週	まとめ	日本近代における「封建思想」について理會を深め、自らの歴史観を形成できる。			
		15週	振り返りと試験				
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	課題提出	相互評価	討論	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	0	10	0	0	100
基礎的能力	80	10	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0